

農地集積業務を行う行政機関（農地中間管理機構や市町村・農業委員会等）の活用例①

集落座談会で農地利用の分散状況を地図上で共有して議論する

○人・農地プランの見直しに向けた座談会で、農地利用の分散状況を見ながら、集約の議論を深めたい。



○人・農地プランの対象地域を表示し、耕作者ごとの農地利用の状況の色分けが可能。

〔市町村・農業委員会が利用する場合は10人分まで色分けが可能（一般ユーザーは耕作者1人分の利用状況の色分けが可能）〕

○また、全国農地ナビは、インターネット接続ができればノートPCやタブレットで閲覧可能であるため、座談会の場に持ち込んで議論することが可能。

農地集積業務を行う行政機関（農地中間管理機構や市町村・農業委員会等）の活用例②

集落座談会で地域の農地の賃借状況を地図上で共有して議論する

- 人・農地プランの見直しに向けた座談会で、賃借の終期を見ながら集積・集約の議論を深めたい。
- 農地の権利関係の状況を出席者全員で共有して議論したい。



人・農地プランの対象地域を表示し、賃借権等の権利の種類とその終期を地図上で閲覧しながら議論することが可能。

賃借権が3ヶ月以内に終期を迎える農地
どのように利用すれば営農しやすいか議論できる

賃借権

ラベルと色分けで、2年以内に賃借権が終期を迎えることがわかる

ラベルの設定
賃借権等の権利の種類

色分けの設定
賃借権等の終期年月日

凡例

終期年月日	
選択中の農地（輪郭線の色）	
3ヶ月以内	
半年以内	
1年以内	
2年以内	
3年以内	
3年以上	
上記以外	

農地集積業務を行う行政機関（農地中間管理機構や市町村・農業委員会等）の活用例③

農地集積・集約化を進めるため、農地の出し手の掘り起こしをしたい

- 農地の出し手を掘り起こすために、個別の農業者との相談活動をしたい。
- 地域の農地の権利関係などを見ながら相談し、効率的な農地利用につなげたい。



相談相手の農業者宅などにおいて、ノートPCやタブレットにより農地情報公開システムにアクセスし、権利関係を閲覧しながら相談することが可能

写真 水域図 地形図
レイヤー表示/非表示

ピンク●の7筆は、
農地中間管理機構の借入農地

権利の設定がない

この1筆を所有者から機構が借りれば、8筆をまとめて転貸することが可能

ラベルの設定
賃借権等の権利の種類

色分けの設定
農地中間管理権の状況

凡例

	選択中の農地（輪郭線の色）
	農地中間管理権が設定されていない
	農地中間管理機構が既に貸出済の農地（使用賃借権設定）
	農地中間管理機構が既に貸出済の農地（賃借権設定）
	農地中間管理機構が借り手・買い手を募集している農地
	上記以外

(C)NTT空間情報

40 m